



## 2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年11月5日

上場会社名 株式会社 タムラ製作所

上場取引所 東

コード番号 6768 URL <https://www.tamura-ss.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 浅田 昌弘

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 経営管理本部長 (氏名) 橋口 裕作

TEL 03-3978-2031

四半期報告書提出予定日 2020年11月13日

配当支払開始予定日

2020年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	33,325	14.6	309	67.1	458	55.9	27	96.5
2020年3月期第2四半期	39,008	9.5	941	50.6	1,039	46.9	766	48.7

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 432百万円 ( %) 2020年3月期第2四半期 170百万円 ( 61.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	0.33	0.33
2020年3月期第2四半期	9.34	9.28

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	85,769	45,833	53.1
2020年3月期	88,593	46,664	52.4

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 45,577百万円 2020年3月期 46,409百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		5.00		5.00	10.00
2021年3月期		3.00			
2021年3月期(予想)				5.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	72,500	9.0	1,500	34.5	2,000	20.3	450	56.1	5.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	82,771,473 株	2020年3月期	82,771,473 株
期末自己株式数	2021年3月期2Q	648,453 株	2020年3月期	680,722 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	82,119,422 株	2020年3月期2Q	82,057,314 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(追加情報) .....	8
(セグメント情報) .....	8
(重要な後発事象) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染拡大による厳しい状況が継続いたしました。当社グループに関わるエレクトロニクス市場では、設備投資抑制に伴う産業機械や装置関連の需要低迷が続いております。そうした中でも、新型コロナウイルスの抑え込みに成功した中国はいち早く回復に向かっており、自動車関連の生産も底を脱したと見られます。しかし、米中貿易摩擦の長期化や、新型コロナウイルスの再拡大が懸念されており、先行きは不透明となっております。

こうした状況のもと、当社グループの事業所や工場は、所在する各国の政府や自治体からの新型コロナウイルス感染拡大防止に関する指針に従うとともに、テレワーク・輪番勤務・時差勤務の導入、国内外出張からWeb会議システムへの転換、オフィス内での分散勤務やパーティション設置などの様々な対策を講じ、感染拡大防止と事業継続の両立を進めてまいりました。また、経費管理の徹底や設備投資の見極めなどにより、コスト削減を図りました。

その結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高333億2千5百万円（前年同四半期比14.6%減）、営業利益3億9百万円（同67.1%減）、経常利益4億5千8百万円（同55.9%減）となりました。

なお、親会社株主に帰属する四半期純利益は、2020年10月22日発表の業績予想数値2千万円より35.6%増加した2千7百万円（前年同四半期比96.5%減）となりました。これは、当該発表後に連結財務諸表固有の一時差異について検討を行った結果、法人税等調整額が当該予想数値より減少したことによるものであります。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、売上高はセグメント間の内部売上高を含めており、セグメント利益はセグメント間取引消去及び本社部門負担の未来開発研究費用控除前の営業利益と調整を行っております。

#### ① 電子部品関連事業

電子部品関連事業は、客先の設備投資の抑制を背景に、産業機械関連顧客向けのトランス・リアクタなどの需要低迷が続くとともに、自動販売機向けのLEDモジュールが、客先の設備投資計画の先送りにより、期待に大きく至らない結果となりました。一方、中国は新型コロナウイルスの影響からいち早く脱し、中国市場に関わる電子部品の生産は回復に向かっております。また、在宅需要の高まりにより家庭用電動工具向けのチャージャなどは堅調に推移いたしました。

その結果、売上高は216億7千8百万円（前年同四半期比14.7%減）、セグメント損失は1億6千1百万円（前年同四半期は1億3千7百万円のセグメント利益）と、減収減益になりました。

#### ② 電子化学実装関連事業

電子化学事業は、新型コロナウイルス感染拡大による世界的な生産活動の縮小により売上は全般的に減少しておりますが、スマートフォン向けのソルダーレジストの生産が夏前より本格化し、中国では5G基地局やデータセンター向けのソルダーペーストが堅調に推移いたしました。実装装置事業については、客先の設備投資の先送りや抑制により、厳しい状況が継続しております。

その結果、売上高は105億5千1百万円（前年同四半期比15.3%減）、セグメント利益は8億8千9百万円（同25.3%減）と、減収減益になりました。

#### ③ 情報機器関連事業

情報機器関連事業は、主力客先である放送局の設備投資需要が弱く、主たる売上についても年度末を中心に予定していることから、当連結累計期間の売上は利益確保に必要な水準に至りませんでした。厳しい市場環境を乗り越えるべく経費管理を強化するとともに、将来を見据えた事業の再構築や新製品・新市場の開拓を鋭意進めております。

その結果、売上高は11億2千5百万円（前年同四半期比10.1%減）、セグメント損失は1億2千4百万円（前年同四半期は1億3千2百万円のセグメント損失）と低調な実績となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ28億2千4百万円減少し、857億6千9百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金の減少などにより流動資産が25億5千万円減少、また有形固定資産が3億1千3百万円減少したことなどによります。

当第2四半期連結会計期間末の負債の合計は、前連結会計年度末に比べ19億9千4百万円減少し、399億3千5百万円となりました。これは主に、有利子負債が増加した一方、支払手形及び買掛金が減少したことなどによります。

なお、有利子負債合計（短期借入金・1年内返済予定の長期借入金・短期リース債務・長期借入金及び長期リース債務の合計額）は6億2千5百万円増加し、229億2千5百万円となりました。新型コロナウイルスの感染拡大による不測の事態に備え、機動的な短期運転資金として10億円の短期運転資金を銀行借入にて調達し、またコミットメントライン契約を25億円増枠の総額50億円とし、手許流動性を高められるよう対応しております。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ8億3千万円減少し、458億3千3百万円となりました。これは主に、利益剰余金が配当の支払いにより3億8千4百万円減少、また為替換算調整勘定の減少などによりその他の包括利益累計額が4億5千8百万円減少したことなどによります。この結果、自己資本比率は53.1%となりました。

（自己資本比率は、純資産より新株予約権・非支配株主持分を控除して計算した比率を用いております。）

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症の世界での拡大は続き、早期の収束は難しい状況となっております。そうした中でも、中国エリアは回復が早く、中国に関わる電子部品や電子化学材料の生産は回復基調で見込んでおりますが、それ以外の地域は新型コロナウイルス感染症の影響が当連結会計年度内は継続することを前提とし、特に設備投資に関わる自動販売機向けLEDモジュールや実装装置関連の需要は厳しい状況が続くものとして業績予想を作成しております。それに加えて、米中貿易摩擦や各国の保護主義的政策などの動向によっても、業績予想の前提が変化する可能性があります。修正の必要が生じた場合には速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	16,669	17,553
受取手形及び売掛金	20,853	17,040
商品及び製品	5,621	5,856
仕掛品	1,938	1,558
原材料及び貯蔵品	5,636	6,433
その他	2,475	2,205
貸倒引当金	△81	△84
流動資産合計	53,114	50,563
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	20,239	21,697
減価償却累計額	△10,158	△10,390
建物及び構築物 (純額)	10,080	11,306
機械装置及び運搬具	17,199	17,041
減価償却累計額	△12,477	△12,757
機械装置及び運搬具 (純額)	4,722	4,284
工具、器具及び備品	9,468	9,488
減価償却累計額	△7,925	△8,003
工具、器具及び備品 (純額)	1,542	1,484
土地	5,136	5,108
リース資産	4,233	4,103
減価償却累計額	△931	△1,290
リース資産 (純額)	3,301	2,813
建設仮勘定	1,899	1,371
有形固定資産合計	26,682	26,369
無形固定資産		
のれん	333	294
リース資産	377	393
その他	780	748
無形固定資産合計	1,490	1,436
投資その他の資産		
投資有価証券	3,790	3,868
退職給付に係る資産	2,346	2,346
繰延税金資産	628	665
その他	609	582
貸倒引当金	△68	△62
投資その他の資産合計	7,306	7,399
固定資産合計	35,479	35,205
資産合計	88,593	85,769

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,943	8,579
短期借入金	4,924	6,111
1年内返済予定の長期借入金	309	3,903
リース債務	973	796
未払法人税等	394	336
賞与引当金	923	872
役員賞与引当金	46	25
移転損失引当金	14	0
その他	2,840	3,707
流動負債合計	22,370	24,333
固定負債		
長期借入金	13,586	9,868
リース債務	2,506	2,244
繰延税金負債	92	104
退職給付に係る負債	2,920	2,935
その他	452	448
固定負債合計	19,558	15,602
負債合計	41,929	39,935
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	11,829	11,829
資本剰余金	17,019	17,019
利益剰余金	19,121	18,736
自己株式	△256	△244
株主資本合計	47,713	47,341
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△268	△114
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	△402	△1,128
退職給付に係る調整累計額	△633	△520
その他の包括利益累計額合計	△1,304	△1,763
新株予約権	161	164
非支配株主持分	93	91
純資産合計	46,664	45,833
負債純資産合計	88,593	85,769

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	39,008	33,325
売上原価	27,807	23,658
売上総利益	11,200	9,666
販売費及び一般管理費	10,258	9,356
営業利益	941	309
営業外収益		
受取利息	42	30
受取配当金	51	29
為替差益	54	—
持分法による投資利益	45	67
補助金収入	52	210
その他	74	170
営業外収益合計	320	507
営業外費用		
支払利息	144	168
為替差損	—	161
その他	77	29
営業外費用合計	222	358
経常利益	1,039	458
特別利益		
固定資産売却益	209	0
投資有価証券売却益	—	2
特別利益合計	209	3
特別損失		
固定資産除売却損	36	8
投資有価証券評価損	—	105
特別損失合計	36	113
税金等調整前四半期純利益	1,212	348
法人税、住民税及び事業税	425	373
法人税等調整額	28	△58
法人税等合計	454	314
四半期純利益	757	33
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△8	6
親会社株主に帰属する四半期純利益	766	27



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	757	33
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△79	154
繰延ヘッジ損益	△0	0
為替換算調整勘定	△602	△680
退職給付に係る調整額	143	113
持分法適用会社に対する持分相当額	△48	△52
その他の包括利益合計	△587	△466
四半期包括利益	170	△432
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	175	△431
非支配株主に係る四半期包括利益	△5	△1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

当連結会計年度における会計上の見積りを行う上で、新型コロナウイルス感染症の収束を2020年6月末までとし、2020年度下期には、売上高は感染拡大前の水準まで回復すると仮定しておりました。しかしながら、現時点でも新型コロナウイルス感染症は世界で蔓延し、収束の見通しは難しい状況となっております。当第2四半期連結会計期間においては、新型コロナウイルスからの回復が早い中国エリアに関わる電子部品や電子化学材料は回復基調での推移を見込んでおりますが、それ以外の地域は新型コロナウイルス感染症の影響が当連結会計年度内は継続することを前提とし、特に設備投資に関わる自動販売機向けLEDモジュールや実装装置関連の需要は厳しい状況が続くものと仮定しております。

この仮定のもと、繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っておりますが、今後の新型コロナウイルスの感染状況や、各国政府や地方自治体の要請により、その見積りの前提が大きく変化する可能性があります。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	電子部品 関連事業	電子化学 実装関連 事業	情報機器 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	25,410	12,401	1,195	39,007	0	39,008	—	39,008
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	53	56	109	336	445	△445	—
計	25,410	12,454	1,251	39,116	337	39,454	△445	39,008
セグメント利益又は 損失(△)	137	1,191	△132	1,195	8	1,203	△262	941

(注) 1. 「その他事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸・倉庫業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△262百万円には、セグメント間取引消去32百万円及び各報告セグメントに配賦していない本社部門負担の未来開発研究費用△294百万円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	電子部品 関連事業	電子化学 実装関連 事業	情報機器 関連事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	21,676	10,542	1,106	33,325	—	33,325
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1	8	19	29	△29	—
計	21,678	10,551	1,125	33,354	△29	33,325
セグメント利益又は 損失 (△)	△161	889	△124	602	△292	309

(注) 1. 「その他事業」である運輸・倉庫業を行っていた連結子会社㈱タムラ流通センターは、2020年4月1日付で当社に吸収合併されました。これに伴い当社グループの運輸・倉庫業は消滅したため、第1四半期連結会計期間より「その他事業」の記載をしておりません。

2. セグメント利益又は損失の調整額△292百万円には、セグメント間取引消去17百万円及び各報告セグメントに配賦していない本社部門負担の未来開発研究費用△310百万円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

(海外子会社の事業所移転)

当社は、2020年8月24日開催の取締役会において、当社100%子会社である田村電子（深圳）有限公司（以下、田村電子（深圳））の事業所を移転することを決議し、同年10月に移転が完了いたしました。

1. 移転先

Tianji Industrial Park, No. 30, Xincheng Rhine Rd, Longgang St, Longgang Dist, Shenzhen, China

2. 移転の理由

田村電子（深圳）事業所付近に地下鉄駅の開業が予定されており、所在地の政府方針により賃貸借契約終了（2020年12月）を以て立ち退き要請がありました。当該要請を機に、一部生産を主要顧客に近い田村電子（蘇州）有限公司へ移管し、田村電子（深圳）は今般現所在地と比べ賃貸料相場の低い同じ深圳市内へ移転することといたしました。

3. 業績に与える影響

本移転により、2021年3月期第3四半期連結会計期間において、雇用契約終了に伴う退職金及び既存設備の廃棄費用として特別損失375百万円を計上する見込みであります。